

緑茶への支出



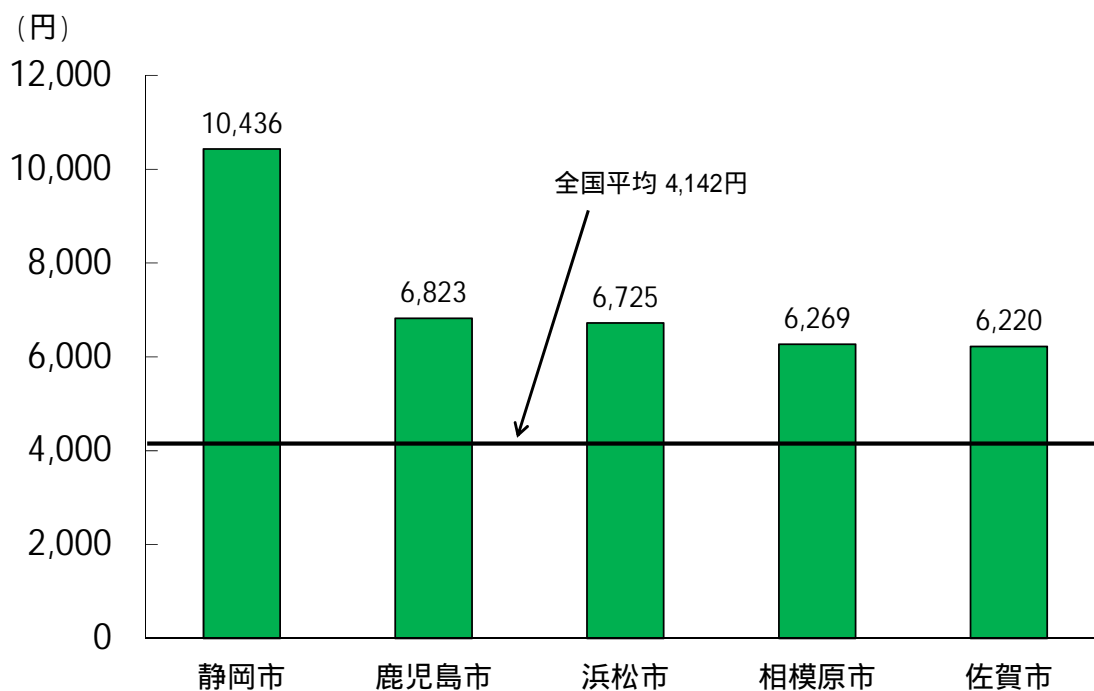
- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

5月も半ばを過ぎ、新茶が出回る時期になってきました。新茶は茶葉の香り、色、味など五感を使って楽しみたいものです。そこで、今月は緑茶（茶葉）への支出について、家計調査の結果から見てみましょう。

支出金額1位は静岡市、2位は鹿児島市

緑茶への年間支出金額（平成26～28年平均）を都道府県庁所在市^{（注1）}別にみると、静岡市が最も多く、次いで鹿児島市（2位）、浜松市（3位）となっており、緑茶の産地^{（注2）}に近い市が上位を占めています。（図1）

図1 品目別都道府県庁所在市^{（注1）}別緑茶への支出金額
（平成26～28年平均）



（注1）都道府県庁所在市以外の政令指定都市（川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市）を含む。

（注2）都道府県別の茶葉の生産量（平成28年）は1位が静岡県、2位が鹿児島県となっています。